

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 7 月 1 日

東京地方裁判所立川支部民事第 4 部

裁判所書記官 小 林 裕 子

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 7 月 16 日 午前 9 時 00 分から 令和 7 年 7 月 23 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 令和 7 年 7 月 29 日 午前 10 時 00 分 場 所 東京地方裁判所立川支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7 年 8 月 13 日 午前 11 時 00 分 場 所 東京地方裁判所立川支部民事第 4 部
特別売却 実施期間	令和 7 年 7 月 30 日 午前 10 時 00 分から 令和 7 年 8 月 1 日 午後 5 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書 (2) 銀行または損害保険会社の支払保証委託契約締結証明書
買受申出の資格の 制限 (民事執行規 則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 7 月 1 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 6 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	5,760,000 4,608,000	一括	1,152,000	54,712	11,609
1	220,000				
2	750,000				
3	4,790,000				



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--------------------------------------|
| 1 | 所 在 | あきる野市牛沼字小松平 |
| | 地 番 | 492 番 9 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 27.32 平方メートル |
| 2 | 所 在 | あきる野市牛沼字小松平 |
| | 地 番 | 493 番 34 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 89.90 平方メートル |
| 3 | 所 在 | あきる野市牛沼字小松平 493 番地 34、492 番地 9 |
| | 家屋 番号 | 493 番 34 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 47.20 平方メートル
2 階 45.13 平方メートル |



物 件 明 細 書

令和 7年 5月13日

東京地方裁判所立川支部民事第4部

裁判所書記官 岩 田 洋 一

1 不動産の表示

【物件番号1～3】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1～3】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号3】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、BITシステムの「お知らせ」メニュー内の各裁判所にある「競売ファイル・競売手続説明書」にも登載されています。

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--------------------------------------|
| 1 | 所 在 | あきる野市牛沼字小松平 |
| | 地 番 | 492 番 9 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 27.32 平方メートル |
| 2 | 所 在 | あきる野市牛沼字小松平 |
| | 地 番 | 493 番 34 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 89.90 平方メートル |
| 3 | 所 在 | あきる野市牛沼字小松平 493 番地 34、492 番地 9 |
| | 家屋 番号 | 493 番 34 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 47.20 平方メートル
2 階 45.13 平方メートル |



令和7年（ケ）第28号
令和7年3月18日受理
令和7年5月8日提出
（評価人：内田憲一）

現況調査報告書

東京地方裁判所立川支部
執行官 佐治 憲彦

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | あきる野市牛沼字小松平 |
| | 地 番 | 4 9 2 番 9 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 7 . 3 2 平方メートル |
| 2 | 所 在 | あきる野市牛沼字小松平 |
| | 地 番 | 4 9 3 番 3 4 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 8 9 . 9 0 平方メートル |
| 3 | 所 在 | あきる野市牛沼字小松平 4 9 3 番地 3 4、4 9 2 番地 9 |
| | 家屋 番号 | 4 9 3 番 3 4 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造スレート葺 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 4 7 . 2 0 平方メートル
2 階 4 5 . 1 3 平方メートル |



不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	東京都あきる野市牛沼493番地34（住居表示未実施）		
土地	物件1,2		
現況地目	☒ 宅地（物件1,2） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）		
その他の事項			
建物	物件3		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある 種類： 構造： 床面積：		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を 居宅（空家）として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 令和 年（ ）第 号 保管開始日 令和 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

- 1 本物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
- 2 本件建物は、令和7年4月18日の調査時において、玄関表札下部に設置された郵便受けの投函口は、ガムテープで完全に塞がれていた。
- 3 解錠のうえ室内に立ち入ったところ、若干の動産類が残置されていたが生活感はなく、居住者の存在を推認させる徴表は窺えなかった。
- 4 本件建物の占有状況については、表札及び上記現場の使用状況から2枚目のとおり認めた。

以 上

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和7年3月25日 13:18-13:30	物件所在地	☒ 物件確認 ☒ 物件調査 ☒ 占有調査 ☒ 外観写真撮影 ☐ 立入調査 ☐ 図面作成 ☐ 写真撮影 ☐ 所有者に面接 調査日時打合せ ☒ 居住者に対し、臨場日時通知書差置
令和7年3月26日 14:30-14:38	東京法務局立川出張所	☒ 不動産全部事項証明書取得
令和7年4月18日 14:34-15:11	物件所在地	☒ 立入調査 ☒ 物件調査 ☒ 占有調査 ☒ 写真撮影 ☒ 図面作成 ☒ 評価人同行
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		

(特記事項)

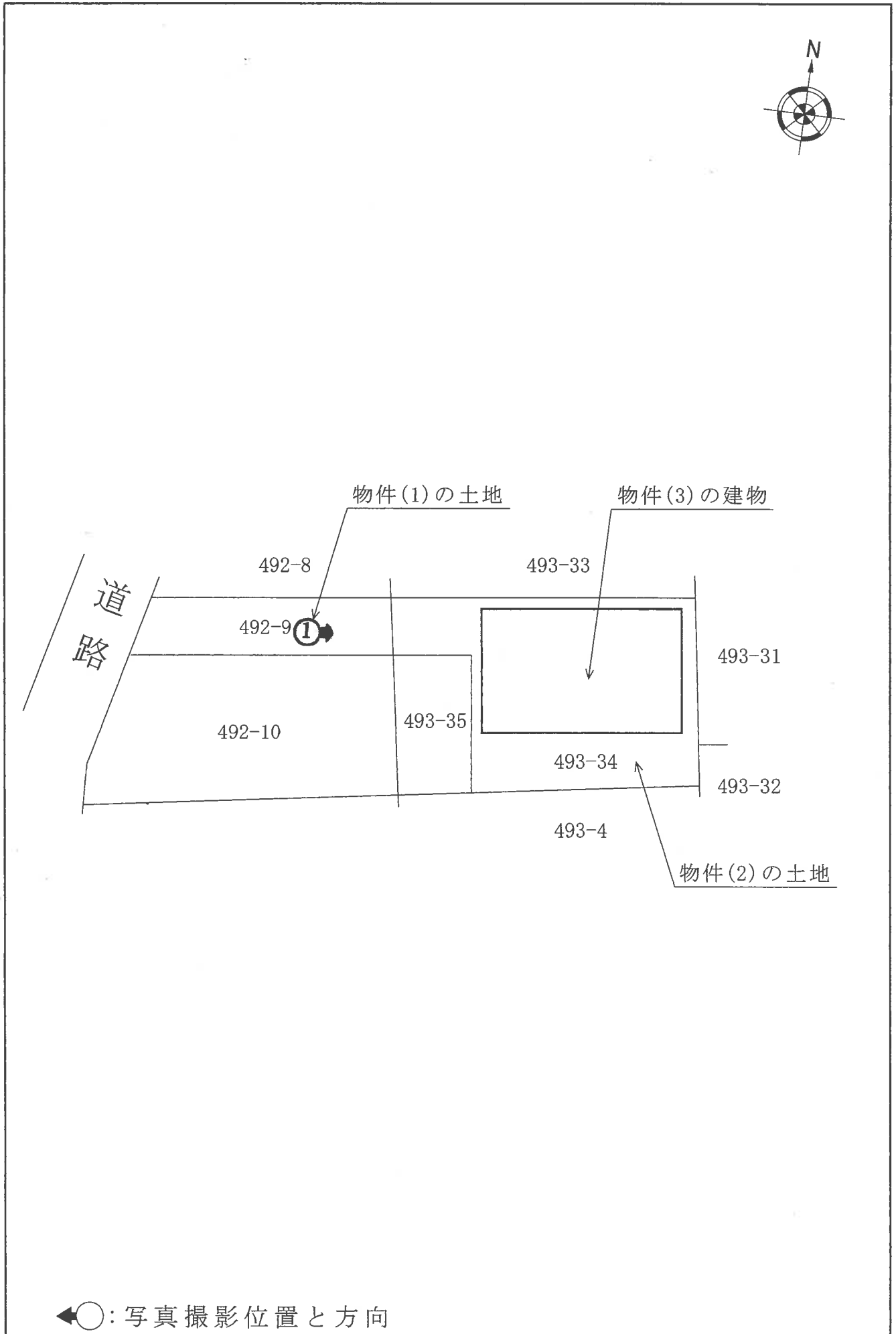
☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていることも予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

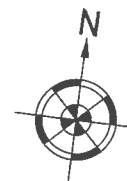
☒ 令和7年4月18日
目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 A を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

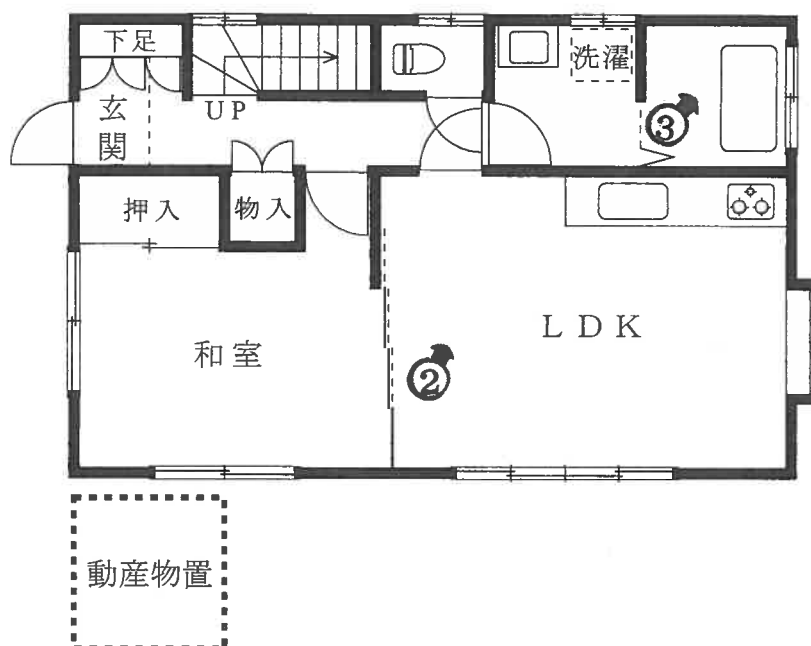
☒ 写真3枚添付

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり

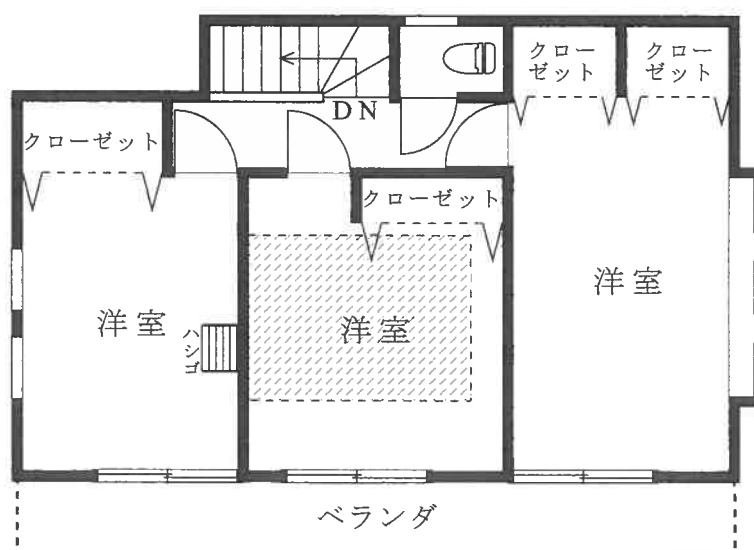




1 階



2 階



部分ロフト有り

←○: 写真撮影位置と方向

1



2



3



(7 枚目)

令和7年（ケ）第28号
令和7年4月18日現地調査
令和7年5月1日評価

東京地方裁判所立川支部
民事第4部不動産執行係 御中

評 価 書

評価人 内 田 憲 一

第 1 評価額

一 括 価 格	
金 5,760,000円	
内 訳 価 格	
物件 1 (土地)	金 220,000円
物件 2 (土地)	金 750,000円
物件 3 (建物)	金 4,790,000円

- 1 一括価格は、物件 1 乃至 3 の各不動産について、一括売却（民事執行法 61 条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件 1 及び 2 の内訳価格は物件 3 のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件 3 の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第 2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 58 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所在等	登記	現 況
1	次頁物件目録記載のとおり		同 左
2	次頁物件目録記載のとおり		同 左
3	次頁物件目録記載のとおり		同 左
番号	特 記 事 項		
	特になし		

物 件 目 録

- 1 所 在 あきる野市牛沼字小松平
 地 番 492番9
 地 目 宅地
 地 積 27.32平方メートル

- 2 所 在 あきる野市牛沼字小松平
 地 番 493番34
 地 目 宅地
 地 積 89.90平方メートル

- 3 所 在 あきる野市牛沼字小松平493番地34、492番地9
 家屋 番号 493番34
 種 類 居宅
 構 造 木造スレート葺2階建
 床 面 積 1階 47.20平方メートル
 2階 45.13平方メートル

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等

位 置 ・ 交 通	J R 五日市線「秋川」駅の南方約2km（徒歩約25分）、最寄バス停から徒歩約6分に位置する。（附属資料「位置図」参照） ※ 上記は歩行者専用橋（秋留人道橋）を通る経路の場合の距離。なお、車道を通る経路の場合は駅まで約2.3km。	
付 近 の 状 況	近隣は、秋川右岸の牛沼地区に存する河岸段丘下の住宅地域であり、戸建住宅を主体として、アパートや事業所兼住宅も介在する。コンビニエンスストアは徒歩圏内に存するが、小・中学校、スーパー、金融機関等の便益施設まではやや距離がある。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等の 個別的な規制を考 慮しない一般的な 規制)	都市計画区分 用途地域 建 蔽 率 容 積 率 防 火 規 制 その他の規制	市街化区域 第2種低層住居専用地域 50% 100% 準防火地域 第1種高度地区、高さの最高限度10m、日影規制、 東京都建築安全条例、東京都景観条例、航空法、 都立秋川丘陵自然公園（普通地域）
画 地 の 状 況	地 積 形 状 間 口 ・ 奥 行 地 勢 そ の 他	117.22㎡ （物件1・2土地の合計） 不整形 間口約2.68m・奥行約24m 路地状敷地部分の最小幅は約2.5m、長さは約14.5m。 路地状敷地以外の部分の辺の長さは縦約8.4m・横約9.8m。 建物が存する宅盤面は概ね平坦であるが、宅盤面は南東側 隣地より概ね0.7m前後低い位置に存する。なお、隣地側 には玉石積み擁壁が存する。 本件土地は行き止まり道路沿いに存する。
接面道路の状況等	略西側が現況幅員約4m舗装道路にほぼ等高に接面する中間画地。 ※ 前面道路の幅員は4mが確保されており、建築基準法第42条1項3号に指定されている。なお、本件土地と公図上の道の間に存する492番1の土地はあきる野市が所有し、登記上の地目は公衆用道路である。	
土 地 の 利 用 状 況 等	・ 物件1・2土地は一体として物件3建物の敷地として利用されている。 ・ 建物の配置は、附属資料建物図面・各階平面図写のとおり。	

供給処理施設 (基本的には敷地内への引き込みの有無を基準としている)	上水道 都市ガス 下水道	有り 無し ※プロパンガスを使用。 有り
土地の履歴等	・昭和50年の住宅地図によれば、本件土地を含む地域一帯は空地が多く見られる中に戸建住宅等が散見される地域であり、本件土地は山林等の更地の状態であったと推察され、昭和54年・昭和62年・平成8年の住宅地図によれば、本件土地の北東側の一部は工場用途の建物が存した可能性がある。その後、平成17年に本件建物が建築され、現在に至る。 ・あきる野市生活環境課で調査したところ、492番1の土地（分筆前の土地）には東京都環境確保条例（略称）による工場（業種：電気機械器具製造等）の届出の記録があるが、廃止届が提出された記録は見当たらないとのこと。なお、土壌汚染の有無については、専門家による調査を実施しなければ分からない。	
特記事項	① あきる野市ハザードマップによれば、本件土地のうち路地状敷地部分は想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域内に存し、想定される最大浸水深についての公表がある。また、本件土地全部が家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）にも存している。詳細についてはあきる野市地域防災課に確認が必要である。 ② 本件土地は河岸段丘下で河川に近い位置関係にあるので、あきる野市地域防災課に過去の浸水実績等について問い合わせたところ、令和元年10月の台風19号の際に、河川に隣接する土地上的家屋が全壊する水害があったが、本件土地に被害があった記録はないとのこと。	

2 建物の概況及び利用状況

区 分	主である建物	
建 築 時 期 及 び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	建 築 年 月 日 (登 記 記 載) 経 過 年 数 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	平成17年5月9日新築 約20年 約5年
仕 様	構 造 屋 根 外 壁 内 壁 天 井 床 設 備 そ の 他	木造2階建 スレート葺 サイディング等 クロス貼等 クロス貼、ボード張等 フローリング、畳等 台所、洗面所、浴室、トイレ等 ベランダ、ロフト
床面積(現況)	1階 47.20 m ² 2階 45.13 m ² 延 92.33 m ² ※ 建物価格には含まれるが床面積には算入されていないロフト(小屋裏利用の物置)が2階に存する。(再調達原価の査定で考慮する)	
現 況 用 途 等	現況用途 間 取 り	居宅 4LDK (洋室:3、和室:1、居間・食事室・台所、洗面室・浴室、トイレ等)
品 等	中位	
保守管理の状況	やや劣る ※ 特記事項に留意を要する。	
建物の利用状況	・ 建物所有者が、本建物を居宅(空家)として所有し、占有している。 ・ 占有減価等の要因はない。	

特 記 事 項	① 建築確認済証の発行記録はあるが、検査済証の発行記録はない。その理由は不明であり、建築基準法に不適合の可能性があることに留意を要する。 ② 室内の内装等には経年使用に伴う汚れ・変色・損傷等が多数認められ、室内の一部の部屋のドアが外されていた。その他、一部の部屋のクロスの剥離やクロスが削られた跡が認められた。ペットを飼っていた可能性があるが詳細は不明。 ③ ベランダの立ち上がり部分の防水が劣化して広範囲で表面が剥がれていた。防水工事等が必要になる可能性があることに留意を要する。 ④ 空家の状態であったため、建物及び設備等の不具合の有無については不明であることに留意を要する。なお、室内には家具や私物等の若干の動産類が残置されていた。 ⑤ 敷地内には動産物置が存する。
---------	---

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1・2（土地）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	更地価格		地 積 ウ	建付減価 エ	建付地価格 オ
	標準画地価格 ア	個別格差 イ			
1	51,500円/㎡	× 0.71	× 27.32㎡	× 0.95	= 950,000円
2	51,500円/㎡	× 0.71	× 89.90㎡	× 0.95	= 3,120,000円

※総額(円)については、1万円未満四捨五入とした。（以下同じ）

ア 標準画地価格：下記の規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。なお、標準画地は、近隣において、土地の概況（間口、奥行、規模等）及び利用状況等が標準的な中間画地を想定した。

【 基準地 （ あきる野－2 ） 】

$$\begin{array}{ccccccc}
 \text{(基準地価格)} & & \text{(時点修正)} & \text{(標準化補正)} & \text{(地域格差)} & & \text{(規準価格)} \\
 54,600\text{円/㎡} & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{101} & \times & \frac{100}{105} = 51,500\text{円/㎡} \\
 & & & & & & \text{(上三桁未満四捨五入)}
 \end{array}$$

時 点 修 正：令和6年7月1日から評価日までの推定変動率である。

標準化補正：方位 +1% ※基準地の標準化補正を考慮（北方位を標準）

地 域 格 差：基準地の所在地域と対象不動産の所在地域を比較して、交通接近条件・街路条件・環境条件・行政的条件等を総合的に考量して判定した。

イ 個 別 格 差：下記の個別的要因を考慮して個別格差率を査定した。

・ 不整形地 －27%

・ 行き止まり道路 －3%

相乗積 $(0.73 \times 0.97 \div 0.71)$

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建 付 減 価：敷地と建物の関連性を考慮した結果、－5%と判定した。

② 物件 3（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 ア	現況延床面積 イ	現価率 ウ	建物価格 エ
3	170,000円/㎡	× 92.33㎡	× 0.20	= 3,140,000円

ア 再 調 達 原 価 ： 対象建物の現状の使用資材、施工の程度等を観察し、その仕様の標準的な原価を採用した。

イ 現況延床面積 ： 登記数量による。

ウ 現 価 率 ： 建物の現況を考慮のうえ、残価率、経済的残存耐用年数を下記のとおり判定し、耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して、現価率を求めた。

- ・ 経済的残存耐用年数は、物理的・機能的・経済的観点から建物の現況及び地域的特性の推移・動向等を考慮して査定したもので、税務上の耐用年数とは一致するものではない。
- ・ 観察減価については、建物の経過年数、建物の状態（内装等の汚れ・変色・損傷、クロスの剥離、ベランダの防水の劣化等）、建物の保守管理の状況、設備関係の老朽化・旧式化、間取りの種類による市場性、中古建物の市場性、観察不能部分の不測の減価等を総合的に比較考量して判定した。

残価率	5%
経過年数	約20年
経済的残存耐用年数	約5年
観察減価率	20%

$$\begin{array}{ccccccc}
 \text{残価率} & & \text{耐用年数に基づく方法} & & \text{観察減価} & & \text{現価率} \\
 0.05 & + & (1 - 0.05) & \times & \frac{5\text{年}}{20\text{年} + 5\text{年}} & \times & (1 - 0.20) \div 0.20 \\
 & & & & & & \text{(小数第3位を四捨五入)}
 \end{array}$$

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を決定した。

① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格 ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 ウ
1	950,000円	× 0.7	法定地上権	= 670,000円
2	3,120,000円	× 0.7	法定地上権	= 2,180,000円
合計				2,850,000円

ア 建付地価格：前記1.①.オ

イ 売却により法定地上権が成立するものと解される。法定地上権割合は、近隣における借地権の取引慣行、課税上の割合等を参考に、建物の性質等、地上権としての特性等を勘案して判定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市 場修正 オ	評 価 額
1	950,000円	－ 670,000円		×1.0	×0.8	= 220,000円
2	3,120,000円	－ 2,180,000円		×1.0	×0.8	= 750,000円
3	3,140,000円	＋ 2,850,000円	×1.0	×1.0	×0.8	= 4,790,000円
一括価格（合計）						5,760,000円

ア 基礎となる価格：前記1

イ 土地利用権等価格：前記2.①.ウ

ウ 占有減価修正：必要なし。

エ 市場性修正：必要なし。

オ 競売市場修正：「第2 評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮して修正を行った。

第6 参考価格資料

[指標とした公示価格等]

【 基準地 (あきる野-2) 】

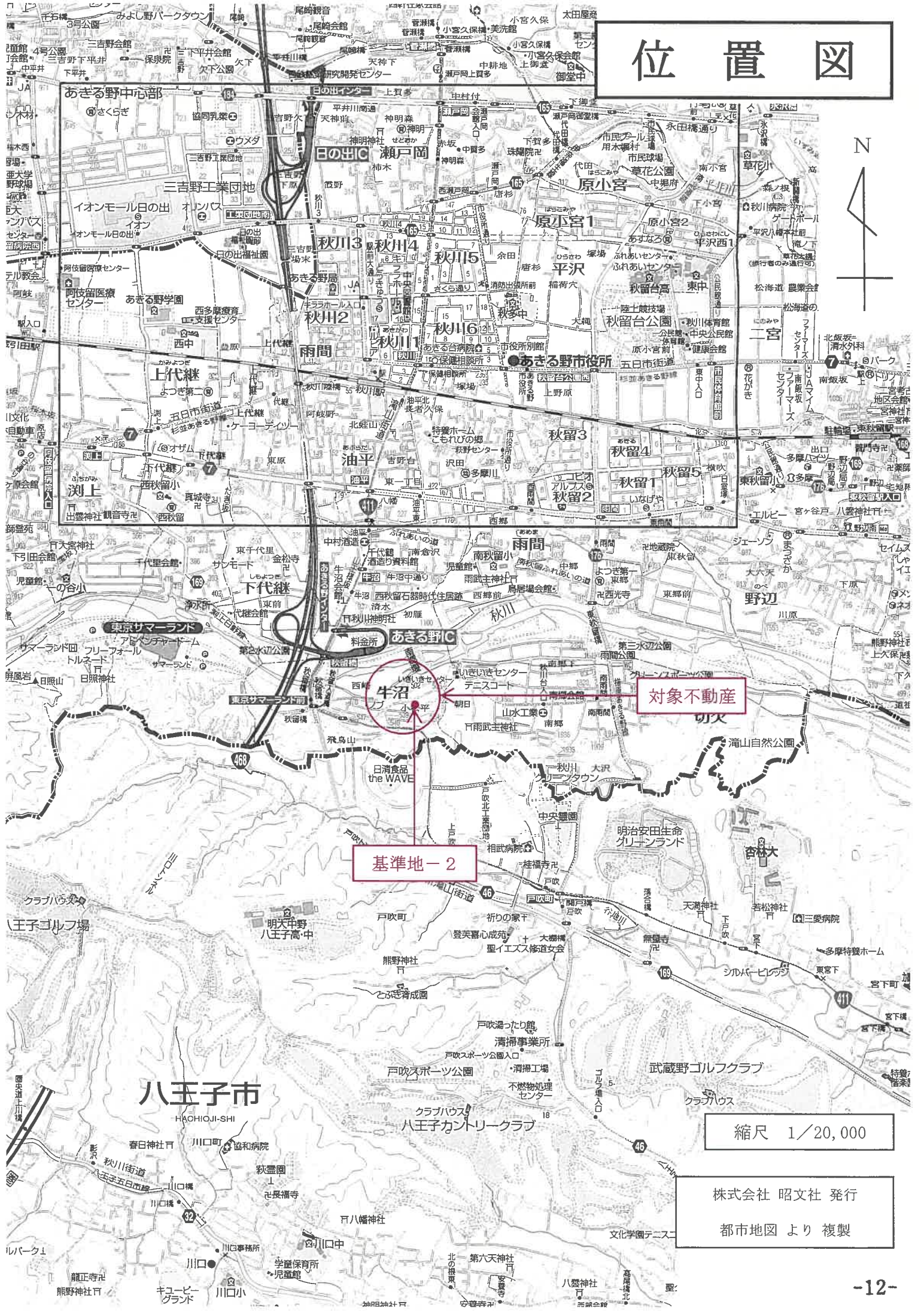
価 格 時 点	令和6年7月1日
所 在 ・ 地 番	あきる野市牛沼字小松平533番17
1 m ² 当たりの 価 格	54,600円/m ²
地 積	118 m ²
供 給 処 理 施 設	水道、下水
前 面 道 路 の 状 況	北西4m市道
交通施設との接近状況	「秋川」駅 1.9 km
法 令 上 の 制 限	2低専(50,100)、準防火地域、高度地区、都立公(普通)
周辺土地の利用の現況	一般住宅の中に事業所等も見られる住宅地域

第7 附属資料

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 地積測量図写
- 4 建物図面・各階平面図写

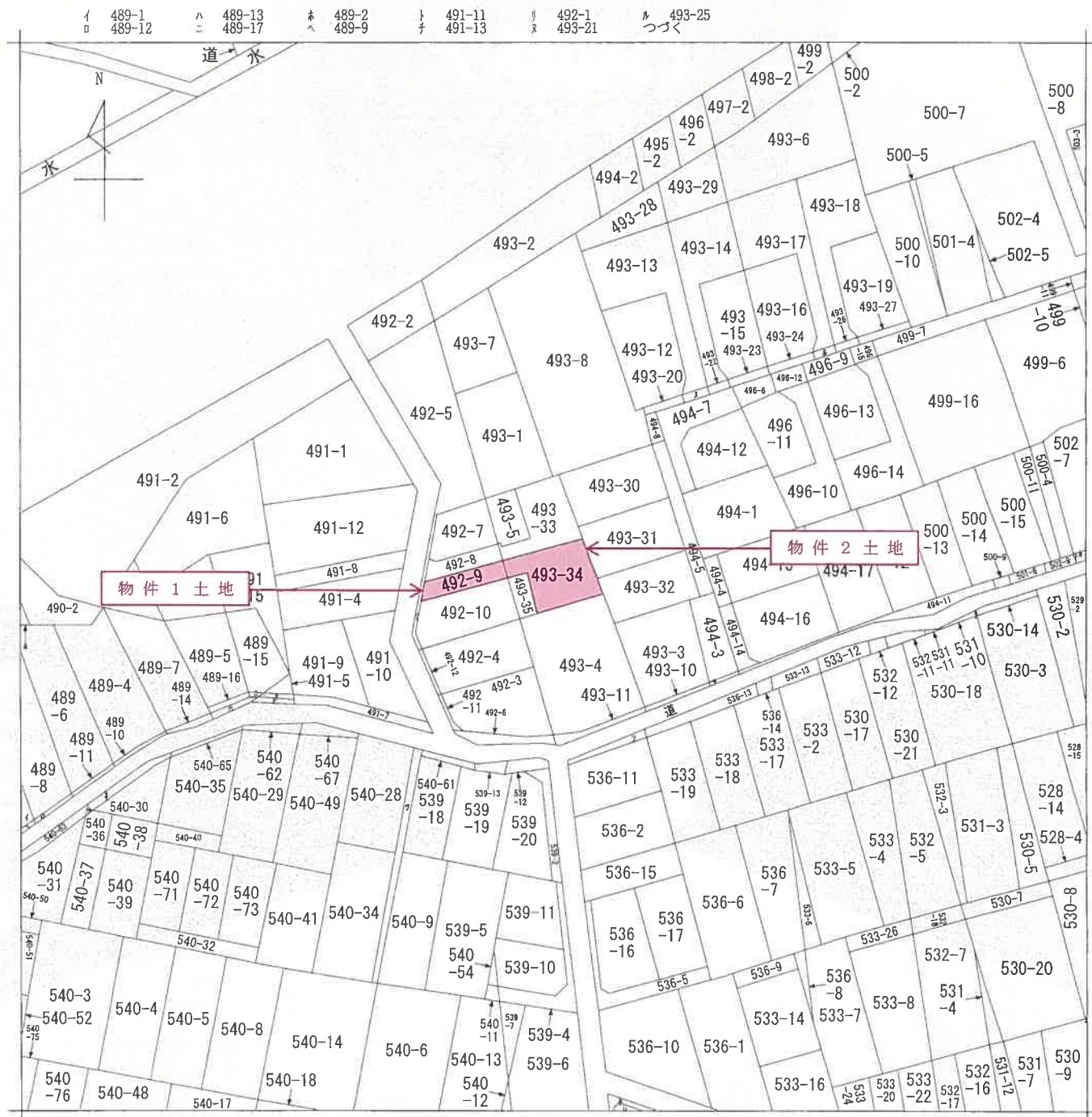
以 上

位置図

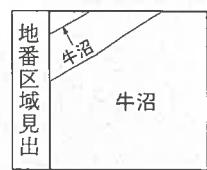


縮尺 1/20,000

株式会社 昭文社 発行
都市地図 より 複製



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部	所在	あきる野市牛沼字小松平			地番	493番34		
出力縮尺	1/600	精度区分	座標系番号又は記号	分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日(原図)				補記事項

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

(東京法務局西多摩支局管轄)

令和7年3月24日

東京法務局立川出張所

整理番号：H15252-1
(1/2)

登記官



A 3 を A 4 に 縮 小

登記年月日：平成16年3月29日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
(東京法務局西多摩支局管轄)

令和7年3月24日

東京法務局立川出張所

登記官

A3をA4に縮小

整理番号：H15252-2

前 492-7-8 第11670		地積測量図	
地番	492-7-492-8 492-8-492-10	土地の所在	あきる野市牛沼字小松平
作製者 土地家産調査士		申請人	縮尺 1/250
平成16年 3月 12日(作製)		(東京土地家産調査士会印)	

地番 492-7

符号	底辺	高さ	倍面積
イ	9.715	4.647	45.145605
ロ	9.715	6.230	60.524450
ハ	7.372	0.771	5.683812
計			111.353867
1/2			55.6769335
地積			55.67 m ²

地番 492-8

符号	底辺	高さ	倍面積
イ	10.394	2.503	26.016182
ロ	3.144	0.793	2.493192
ハ	8.939	2.378	21.256942
計			49.766316
1/2			24.8831580
地積			24.88 m ²

地番 492-9

符号	底辺	高さ	倍面積
イ	11.629	2.463	28.642227
ロ	11.629	2.237	26.014073
計			54.656300
1/2			27.3281500
地積			27.32 m ²

地番 492-10

符号	底辺	高さ	倍面積
イ	14.980	5.593	83.783140
ロ	14.980	1.533	22.964340
ハ	14.102	3.861	54.447822
計			161.195302
1/2			80.5976510
地積			80.59 m ²

拡大図 S=1/100

これは図面に記載されている内容を証明した書面である。

(東京法務局西多摩支庁管轄)

令和7年3月24日

東京法務局立川出張所

登記官

A3をA4に縮小

前 493-5-33/416, -35

493-5-493-33
493-34-493-35

地 積 測 量 図

地 番

あきる野市牛沼字小松平

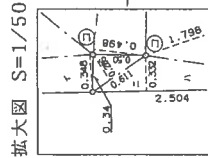
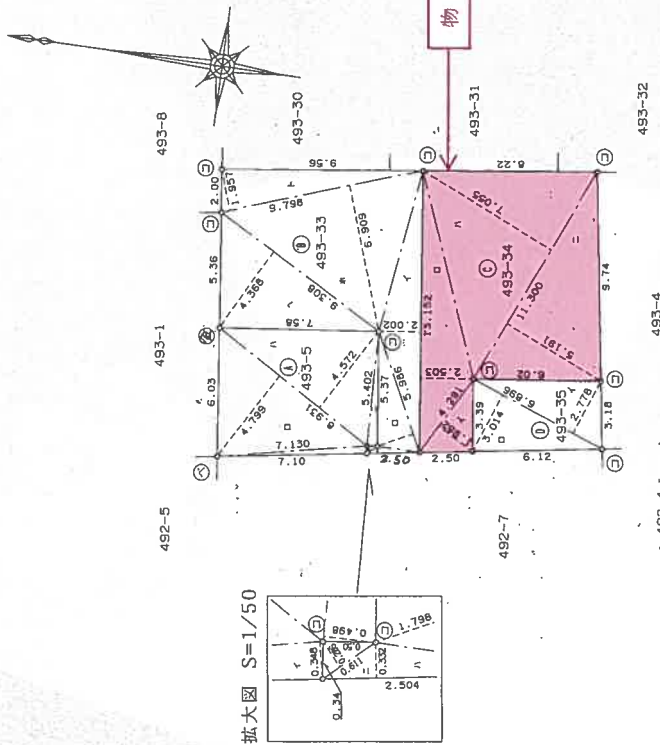
土地の所在

地番 493-5			
符号	底 辺	高 さ	価 面 積
イ	7.130	0.348	2.481240
ロ	8.931	4.799	42.859869
ハ	8.931	4.572	40.832532
ニ	5.402	0.498	2.690196
計			88.863837
1/2			44.4319185
地積			44.43 m ²

地番 493-33			
符号	底 辺	高 さ	価 面 積
イ	13.152	2.002	26.330304
ロ	5.986	1.798	10.762828
ハ	2.504	0.332	0.831328
ニ	0.611	0.286	0.174746
ホ	9.798	6.909	67.694382
ヘ	9.308	4.368	40.657344
ト	9.798	1.957	19.174686
計			165.625618
1/2			82.8128090
地積			82.81 m ²

地番 493-34			
符号	底 辺	高 さ	価 面 積
イ	4.291	1.982	8.504762
ロ	13.152	2.503	32.919456
ハ	11.300	7.055	79.721500
ニ	11.300	5.191	58.658300
計			179.804018
1/2			89.9020090
地積			89.90 m ²

地番 493-35			
符号	底 辺	高 さ	価 面 積
イ	6.896	2.778	19.157088
ロ	6.896	3.014	20.784544
計			39.941632
1/2			19.9708160
地積			19.97 m ²



境界点・境界線の種類	
⑤	石
④	コンクリート杭
③	金属杭
②	木杭
①	目
⑥	ベンキ

284066

縮尺 1/250

申請人

平成16年 3月 12日(作製)

作製者

土地家屋調査士

(東京土地家屋調査士会用紙)

登記年月日：平成17年5月17日

平成十七年五月十七日登記

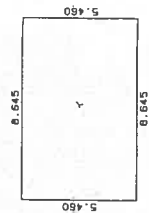
建物平面図

家屋番号
493-34

建物の所在
あきる野市牛沼字小松平493番地34 492番地9

各階平面図

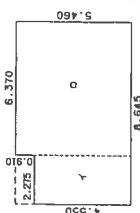
1階



求積表

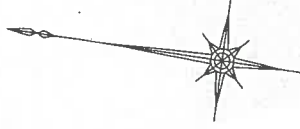
イ	8.645 X 5.460	=	47.201700
計			47.201700
床面積			47.20 m ²

2階

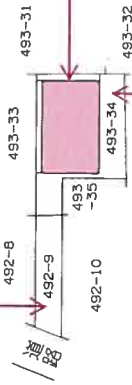


求積表

イ	2.275 X 4.550	=	10.351250
ロ	6.370 X 5.460	=	34.780200
計			45.131450
床面積			45.13 m ²



物件1土地



物件3建物

物件2土地

703728

作製者
土地調査士
家屋調査士

17年 5月 13日(作製)

縮尺
1/250

申請人

縮尺
1/500

(東京土地家屋調査士会用品)

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
(東京法務局西多摩支庁管轄)
令和7年3月24日 東京法務局立川出張所

登記官

A3をA4に縮小

整理番号：H1522-4